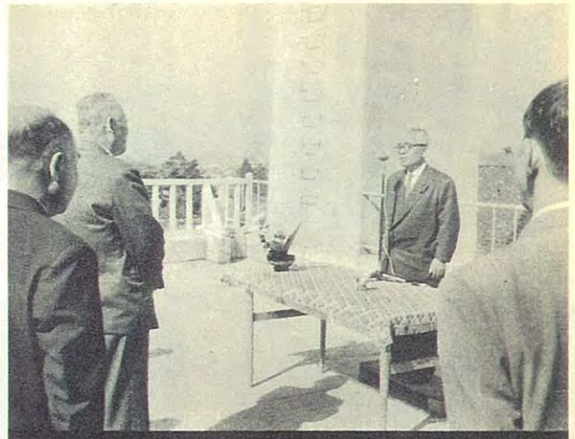
ニュースフラッシュ

NEWS FLASH



（32. 10. 24） 赤城農林大臣来所。事業概況を聴取したあと、屋上に本所職員を集めて訓示激励された

（32. 8. 9） 世銀借款契約締結。調印するは左から朝海駐米大使、世銀ブラック総裁、愛知用水公団浜口総裁

（32. 10. 8） 新任副総裁として前樺太庁長官大津敏男氏が任命された。写真は着任後初の記者会見を行う大津新副総裁

（32. 8. 1） 県内の農業改良普及員は公団の技術顧問ビショップ教授から畑かん技術について熱心な研修をうけた

（32. 12. 2） 待望の着工第1陣として曲り池ダム工事着手。記念すべき鍬入式が三好村のダム現場で行われた

（32. 12. 21） 続いて第2陣牧尾ダムバイパス工事着手。写真はダム現場の鍬入式で発破第1号のスイッチを押す浜口総裁

（33. 2. 11） 曲り池ダム定礎式挙行、浜口総裁の筆になる定礎石は森平第1水路所長の手で中心部に堅固に据えられた

（33. 3. 1） 記録映画『愛知用水』の製作を日本映画新社に委託、同社は早速スタッフを派遣して本格的撮影に入った

（33. 3. 13） 幹線水路中最大の工事である兼見トンネルの鍬入式は、好天に恵まれて幸先のよいスタートを切った

（33. 4. 6） 名鉄デパートでの『伸びゆく中部産業展』に愛知用水計画も展示され観覧者の注目を集めた

（33. 4. 21） 民放祭記念番組『日本の鼓動』は愛知用水事業がそのトップを切った。兼見現場で放送する大津副総裁

親愛なる
公団職員各位

いついかなる場合にあっても、各国民・各国家が緊密に協力して、全き友好関係を保ってゆくことは、真に望ましいことであります。かかる友情をつねにかち得ることは、必ずしも容易ではありませんが、しかし、私たちは絶えずそれが確保されてゆくよう努力してゆかねばならないのであります。

私は、31年から始められた技術援助を継続し、かつこれをさらに推し進めてゆくために、32年夏もふたたび日本を訪れました。私にとって、愛知用水事業はきわめて興味ある事業であり、同時に私は、各位との間に友好的な理解を深めてゆくことにも、大きな喜びを感じているのであります。

コンサルタントとしての私の仕事が、愛知用水事業のために役立つことができれば、これは私のもっとも幸いとするところであります。また私は、現に遂行されつつある本計画が、やがてその内にはらむ力強い意義を実現し、貴国のために美しい果実を結ぶ日の訪れることを、心から待ち望んでいるものであります。

私は、技術の交流と協力を通じて、日米両国の完全な理解が深められ、これがひいて両国間の平和促進にも寄与するであろうことを確信しております。

科学技術の世界は無限に広く、しかもそれは絶えざる進歩をとげております。このような技術知識の成果を、各位の協力のもとに愛知用水事業に導入して、これを援助申上げることが、私の願いに外なりません。おわりに私は私自身の微力が、各位の目的の達成に寄与することができ、かつ愛知用水事業の見事な成就が一日も早からんことを心から祈るものであります。

A. A. ビショップ

編集手帖

■グラフ第1号をお届けします。このグラフは旧月報に代る対外対内的なPR資料です。したがって発行目的や編集方針は旧月報と変りありません。

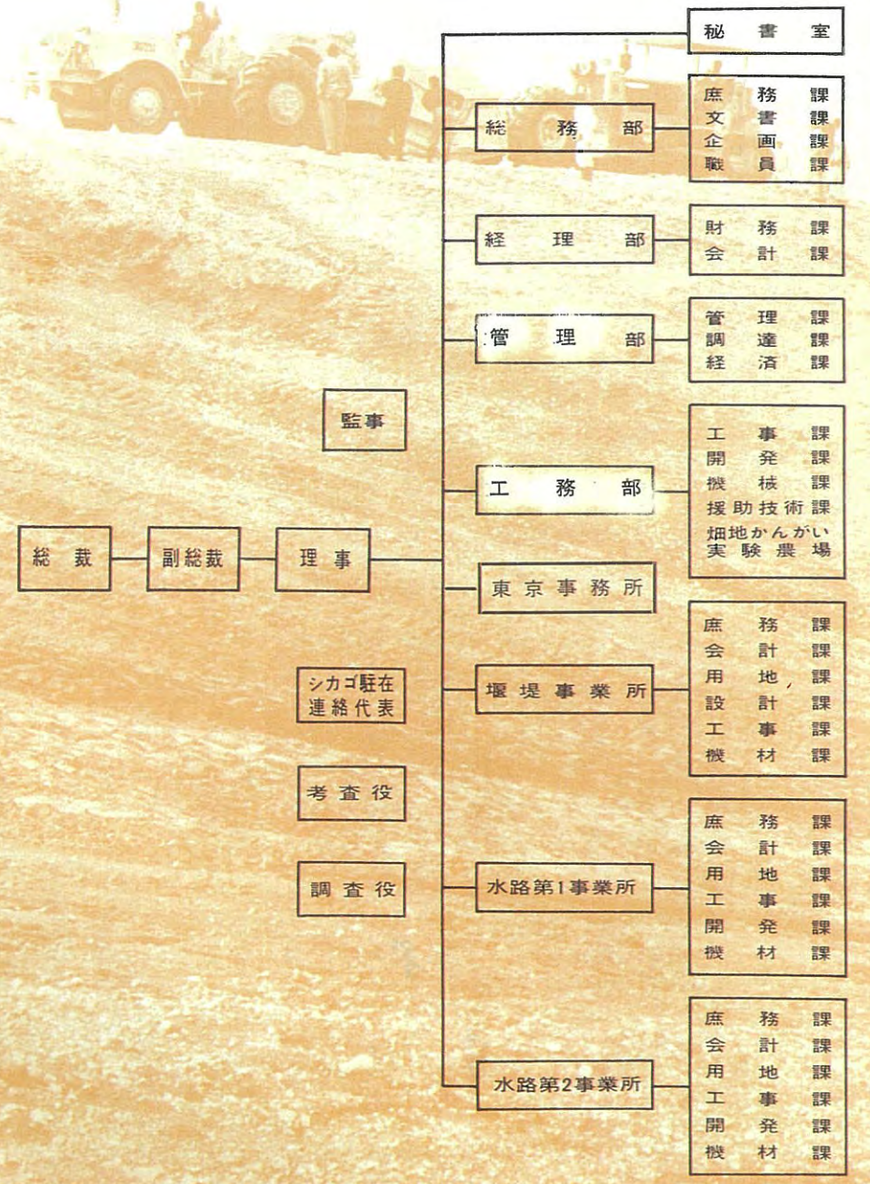
■このグラフは今後できるかぎり定期(年5～6回)に発行してゆきたい計画ですが、ただグラフとしての性格上、事業の進捗に即応してゆかざるを得ない一面もありますので、発行期日の厳守ということは困難かも知れません。あらかじめ御諒承を願っておきます。

■本号の内容について、きたんのない御批評をお寄せ下さい。本文24頁といういともささやかなグラフですが、いざとりかかってみるとやはり相当の難業です。写真撮影から解説記事・レイアート・印刷所との打合・青焼校正etc、(もっともグラビヤという特殊な印刷を採用したせいもありますが)これらを全部一人で処理しなければならないので、気ばかり焦って—結果はかくのとおり、もし羊頭狗肉でしたらこれはひとえに私の努力不足というほかありません。

■御批評と同時にグラフのための名企画をドシドシ御教示下さい。事業全体についてみれば、一部担当者しか知らないような、有益なテーマがいくらでもかくされているのではないかと思います。公団事業の実績を内外に紹介することこそ〝愛知用水グラフ〟の第1の使命だと考えます。各部所の実務担当者の御協力を切に期待します。

■次号から試みとして綜合的な編集をやってみようと考えています。工事記録の充実はもちろんですが、そのほかに例えば現地ルポとか生活記録といった企画、いうなればこの事業の遂行過程を多角的にながめてゆく、という試みです。編集者のコウマイ？なる意図を寛容に御理解下さらんことを——。次号は7月中にぜひ出していのですが、取材や編集にどうか御協力下さい。

(横山)

愛知用水公団機構図

昭和33年2月1日改正